

ベトナム系難民二世の教育と就労をめぐる諸問題 —インドシナ難民調査の分析から—

Some Issues on the Education and Employment of the Vietnamese Second Generation:
From a Survey on the Social Integration of Indochinese Refugees

人見泰弘 (名古屋学院大学)

HITOMI Yasuhiro (Nagoya Gakuin University)

キーワード：ベトナム系難民二世、教育、就労

Keywords: Vietnamese second generation, Education, Employment

問題設定

ベトナム系難民の第一陣が来日してから、すでに 30 年以上が経過した。そして 2000 年前後にかけては、数多くのベトナム系難民に関する調査研究がなされている。しかし、その後のベトナム系難民の定住状況を実証的にフォローした研究は限られる。本報告は、2012 年から 2013 年にかけて笹川平和財団が実施した調査データを用いて、近年のベトナム系難民の現状を把握することを目的とした。とりわけ本報告では、成長するベトナム系難民二世の移住過程に焦点を当て、難民二世の教育と就労を中心にその調査結果を報告する。

調査の概要

本報告は、2014 年 2 月に報告された笹川平和財団の調査プロジェクトに際して実施した「インドシナ難民の社会統合調査」の個票データのうち、ベトナム系難民二世に焦点を絞って新たに分析を行ったものである。もともと本調査は、インドシナ難民の社会統合を包括的に捉えることを目指して、関東圏・東海圏・関西圏に集住するインドシナ難民を対象に、2012 年秋から 2013 年春にかけて実施された。本調査は、調査項目に居住、就労、教育、日本語、社会的つながりやコミュニティ、国籍取得といった社会統合に関わる幅広い項目を含んでいる。また本調査は、難民の来日後の移住過程の全体像を俯瞰的に捉えつつ、詳細なライフコースを解明するため、二種類の社会調査を組み合わせた。ひとつは調査票を配布して記入してもらい、全体的な特徴を量的につかもうとした質問紙調査。もうひとつは、質問紙調査の実施に併せて個別の聞き取りを依頼し、承諾した対象者に後日に実施した聞き取り調査である。

本報告は、上記の調査結果のうち、ベトナム系難民二世の教育と就労に主に焦点を当て、関連する項目と併せて分析を行う。

調査結果

対象となったベトナム系難民二世には、現在も学校教育課程にいる難民二世のほかに、すでに就労して労働市場に参入しているものもみられた。難民二世の教育と就労について主にみていく。まず教育の分野では、ひとつには母語教育や母文化教育の重要性がみられた。難民二世は、家庭で母語教育や母文化教育を受けてきた経験を持つ。積極的に両親が母文化を難民二世に伝えて、バイリンガルの家庭環境を作ろうとした家族もあれば、逆に子どもが母文化から離れてしまい、両親と子どもがそれぞれ依拠する文化基準が異なって家庭内の不和が生じてしまう家族もみられた。難民二世の成長にとって、母国文化の継承は教育上も一定の効果があったと言えよう。

そして難民二世は、日本の学校教育を経験して成長する。義務教育を修了して高等学校や大学といった高等教育へ進学する者がみられた一方で、高等教育への進学が困難であったり、両親からできるだけ早く就労して社会に出るよう促されたものもみられた。また高等教育への進学者をみると、日本語教室や学習支援 NPO などとのつながりを利用して、受験や奨学金についての情報を受けとるものがみられており、学力や金銭的な支援が必要な状況にあることがうかがえた。

一方で、難民二世のなかにはすでに就労しているものも増えている。なかには自分の難民としての移住背景をふまえて、祖国や日本で活躍しようとするものがみられるなど、難民二世のなかには、自分の言語・文化的背景を活かして国境を越えて活躍しようという人々が育っている。一方で、すべてが安定した就労状況にあるわけではなく、不安定な雇用状況にあるものも見られた。滞り期間が長期化して難民二世の成長がみられるなかで、難民二世の教育から労働市場への参入という課題が顕在化しつつあると言える。

付記

本報告は、笹川平和財団よりデータの使用許可を受けた。記して感謝する。

主要参考文献

長谷部美佳、2010『インドシナ難民による配偶者呼び寄せという形の結婚移民の考察—

「結婚」移民と「労働」移民の二項対立を超えて』東京都立大学博士学位請求論文。

人見泰弘、2008「難民化という戦略—ベトナム系難民とビルマ系難民の比較研究」『年報社会学論集』、第 21 号、107-118 頁。

川上郁雄 2001『越境する家族—在日ベトナム系住民の生活世界』明石書店。

戸田佳子 2001『日本のベトナム人コミュニティ—一世の時代、そして今』暁印書館。